

昭和60年度～

昭和60年度

教育訓練計画

県消防学校

県消防学校では、昭和60年度における教育訓練計画を策定し、次のとおり4月から実施することとした。

12月16日、12月21日 入校中の所要経費 1人4,700円

12月21日、12月23日 入校中の所要経費 1人4,100円

12月26日、12月28日 入校中の所要経費 1人4,100円

消防団員に対し、消防団員として一般的に必要な基礎的教育訓練を行なう。

12月9日、12月28日 入校中の所要経費 1人4,600円

12月10日、12月13日 入校中の所要経費 1人4,600円

12月16日、12月18日 入校中の所要経費 1人4,600円

火あそびによる火災をなくそう

子供の火あそびによる火災は、大人がいない場所や人目につかなく、こっそり発生することが多く、このため火災の発生が運ばれたり、初期消火が遅れたり、ひどい傾向があります。



消防団員に対し、消防団員として一般的に必要な基礎的教育訓練を行なう。

12月10日、12月13日 入校中の所要経費 1人4,600円

12月16日、12月18日 入校中の所要経費 1人4,600円

12月21日、12月23日 入校中の所要経費 1人4,100円

漢字の心 (上)

大曲・仙北広域消防本部 総務課長 富樫俊悦

社会生活の発展につれて新語や外来語がどんどん取り入れられ、それが日常語として定着し使われている。時代の進歩とともに言葉が進歩することは結構なことではあるが、私たちの国語は漢字が自国語である。難読漢字や常用漢字の難読漢字が採用されて、近年において思想表現の自由が拘束されているとして改訂されたりしている。

消防防災課からのお知らせ

昭和59年秋田県の焼死者状況は次のとおりです。

Table showing fire deaths in Akita Prefecture for 1959, categorized by month and age group.

2月の火災発生件数 (全県) 消防団員のための消防互助年金 第2回申込締切日 5月10日

単純な疑問を持つわけだが、国文学や文化勲章を授賞して30年に没した諸橋漱石博士(種彦)の「大鏡和辞典」(五訂)三〇〇の漢字が何と五万三千〇〇〇の漢字が記録されているのである。

Advertisement for fire insurance and fire mutual aid fund, including contact information for the fire department.

Advertisement for Hotel Akita, featuring a photograph of the hotel and a list of room rates.

Advertisement for fire insurance and fire mutual aid fund, including contact information for the fire department.

消防職員意見発表会

県消防長会

消防職員意見発表会では、全県消防職員が一堂集まり、全県消防の発展を期すべく、4月5日午後1時から秋田市城東消防署において開催された。

この意見発表会は、全県消防職員意見発表会東北予選の県代表発表会をかねて開催され、発表者は、各消防本部から選出された8名が出席し、発表内容は、発表力、発表態度等について慎重に審査した結果次のとおり入賞者が決定された。

◎最優秀賞者 4月26日青森県において開催の東北大会に秋田県代表として出場した。

◎優秀賞者 4月26日青森県において開催の東北大会に秋田県代表として出場した。

◎努力賞者 4月26日青森県において開催の東北大会に秋田県代表として出場した。

◎最優秀賞者 4月26日青森県において開催の東北大会に秋田県代表として出場した。

◎優秀賞者 4月26日青森県において開催の東北大会に秋田県代表として出場した。

◎努力賞者 4月26日青森県において開催の東北大会に秋田県代表として出場した。

『職場と家庭』

男鹿地区消防本部 大関 栄一

昭和五十八年六月一日、それは私にとって生誕されることのない日であり、毎日、寝たきりの私の母と、五歳と四歳の子供達の間をさまよっていた。その半年前、消防学校に入塾し、消防士としての訓練を受けた。消防士と呼ばれ、責任を帯び、命を懸けて働く。そんな時、上司、同僚の励まし、言葉、どれ程もあつた。私には、こんな素晴らしい仲間がいた。どこまでも自分言いきかせながら、愛した母と子供達を一人一人抱え、家庭と職場の両立に懸命な努力を傾注して来た。

そんな時、上司、同僚の励まし、言葉、どれ程もあつた。私には、こんな素晴らしい仲間がいた。どこまでも自分言いきかせながら、愛した母と子供達を一人一人抱え、家庭と職場の両立に懸命な努力を傾注して来た。

災害に備えて応急手当の方法を身につけよう

消防庁

近年発生している事故や災害の様相は年々多岐に多様化してきており、また、交通事故、家庭内における事故等も毎年増加の傾向を示しています。

このため、救急車の出動件数も毎年増加の一途をたっており、昭和59年中の全国の救急出動件数は約220万件、搬送人員は約215万人となっており、1日平均6、104件、約14、2秒に1回の割合で救急車が出動したことになる。また、救急業務を実施している市町村においても、6人に1人が救急車によって搬送されたことになりました。

このように、消防機関が行なう救急業務は、今や住民の日常生活に密着した行

ルナティック・ロマン (10)

東 冬彦

「お母さんねえ、お腹が痛くなって亡くなったんだよ、でもお母さんは天国で、いつも見ているんだよ」と言っている。その子供達も今は保育園に通っている。

「お父さん、行ってらっしゃい」と怒り、元氣な声で叫んでいます。私は、その子供達のために、そして消防士として、職場と家庭の両立のため、地域住民から信頼され、一人の職人を救済したいと思っています。

「お母さんねえ、お腹が痛くなって亡くなったんだよ、でもお母さんは天国で、いつも見ているんだよ」と言っている。その子供達も今は保育園に通っている。

消防防災課からのお知らせ

- 1. 昭和60年度第一回危険物取扱者試験について
- 2. 昭和60年7月26日(日) 昭60年 秋田市 横手
- 3. 昭60年 秋田市 横手
- 4. 昭60年 秋田市 横手
- 5. 昭60年 秋田市 横手
- 6. 昭60年 秋田市 横手

年	建物	その他	死者	傷者	火災死者
60年	7	9	0	2	2
59年	13	1	2	10	10

月	建物	その他	死者	傷者	火災死者
3月	48	31	2	37	37
累計(1月~3月)	132	32	7	128	128
前年(1月~3月)	-7	+23	-1	-3	-3

消防施設工事 秋田県知事許可(般-50) 4370号
指名競争入札参加資格 秋田県A級(第8号)
秋田県消防設備保守協会会員

消防設備はソフト (保守点検)が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10-9 ☎63-1551(代)

火災報知設備・消防ポンプ・消火器

寺田染工場

手拭 圍 襪 幕

手 電話 ☎0182-4101

秋田県横手市清川町

申込みは工場又は秋田県消防協会へ



昭和59年中の全国火災概況

死者は戦後最高

自治省消防庁

自治省消防庁では、昭和59年中の火災概況について次のとおり公表した。

一、全国的概況

(1) 出火件数

昭和59年中における出火件数は、63,752件で前年(59年)に比べ、0.12件の増加となっている。これを1日当たりの出火件数であると174件となり、8分に1件の割合で火災が発生したことになる。

(2) 出火件数による死者

9%を占めており、前年の676人に比べ74人増加している。

また、出火率は、全国平均では、5.3であり、香川県7.7、茨城県7.0、三重県7.2、茨城県7.0、栃木県7.2、鳥取県6.9の順となっている。

一方、少ない県は、奈良県2.7、山梨県2.7、和歌山県2.5、神奈川県4.0の順となっている。

(3) 焼損程度

焼損棟数は、51,007棟、焼損面積は、37,682世帯、建物焼損面積は、2,028,095㎡、林野焼損面積は、3,748㎡、損害額は、1,420億、320万3千円となっている。

これらを前年と比べると、林野焼損面積は、3,918㎡、損害額は、84億、55万7千円それぞれ減少しているが、焼損棟数は45.6棟、建物焼損面積は、73.3、178㎡それぞれ増加している。

二、都道府県別の状況

(1) 出火件数

出火件数は、東京都7,048件を最上位に、大阪府5,017件、愛知県4,276件、兵庫県3,427件、神奈川県2,920件の順となっている。

一方、少ない県は、奈良県及び和歌山県の277件を最下位、富山県281件

鳥取県331件、徳島県340件の順となっている。

また、出火率は、全国平均では、5.3であり、香川県の7.7を最上位に、三重県7.2、茨城県7.0、栃木県7.2、鳥取県6.9の順となっている。

一方、少ない県は、奈良県2.7、山梨県2.7、和歌山県2.5、神奈川県4.0の順となっている。

(3) 焼損程度

焼損棟数は、51,007棟、焼損面積は、37,682世帯、建物焼損面積は、2,028,095㎡、林野焼損面積は、3,748㎡、損害額は、1,420億、320万3千円となっている。

これらを前年と比べると、林野焼損面積は、3,918㎡、損害額は、84億、55万7千円それぞれ減少しているが、焼損棟数は45.6棟、建物焼損面積は、73.3、178㎡それぞれ増加している。

二、都道府県別の状況

(1) 出火件数

出火件数は、東京都7,048件を最上位に、大阪府5,017件、愛知県4,276件、兵庫県3,427件、神奈川県2,920件の順となっている。

一方、少ない県は、奈良県及び和歌山県の277件を最下位、富山県281件

定価 5円
1部 300部
5部 1,000部
10部 2,000部
20部 4,000部
30部 6,000部
40部 8,000部
50部 10,000部
60部 12,000部
70部 14,000部
80部 16,000部
90部 18,000部
100部 20,000部

昭和60年度全国統一防火標語

怖いのは「消したつもり」と「消えただけ」

人の順となっている。

一方、少ない県は、和歌山県の8人を最下に、徳島県10人、佐賀県11人、鳥取県12人、滋賀県及び島根県13人の順となっている。

次に、負傷者は、東京都の1,154人を最上位に、大阪府641人、神奈川県398人、兵庫県346人、愛知県336人の順となっている。

一方、少ない県は、沖縄県の12人を最下に、鳥取県34人、和歌山県42人、山梨県及び徳島県46人の順となっている。

(3) 焼損程度

焼損棟数は、51,007棟、焼損面積は、37,682世帯、建物焼損面積は、2,028,095㎡、林野焼損面積は、3,748㎡、損害額は、1,420億、320万3千円となっている。

これらを前年と比べると、林野焼損面積は、3,918㎡、損害額は、84億、55万7千円それぞれ減少しているが、焼損棟数は45.6棟、建物焼損面積は、73.3、178㎡それぞれ増加している。

二、都道府県別の状況

(1) 出火件数

出火件数は、東京都7,048件を最上位に、大阪府5,017件、愛知県4,276件、兵庫県3,427件、神奈川県2,920件の順となっている。

一方、少ない県は、奈良県及び和歌山県の277件を最下位、富山県281件

昭和60年度全国統一防火標語

怖いのは「消したつもり」と「消えただけ」

人の順となっている。

一方、少ない県は、和歌山県の8人を最下に、徳島県10人、佐賀県11人、鳥取県12人、滋賀県及び島根県13人の順となっている。

次に、負傷者は、東京都の1,154人を最上位に、大阪府641人、神奈川県398人、兵庫県346人、愛知県336人の順となっている。

一方、少ない県は、沖縄県の12人を最下に、鳥取県34人、和歌山県42人、山梨県及び徳島県46人の順となっている。

(3) 焼損程度

焼損棟数は、51,007棟、焼損面積は、37,682世帯、建物焼損面積は、2,028,095㎡、林野焼損面積は、3,748㎡、損害額は、1,420億、320万3千円となっている。

これらを前年と比べると、林野焼損面積は、3,918㎡、損害額は、84億、55万7千円それぞれ減少しているが、焼損棟数は45.6棟、建物焼損面積は、73.3、178㎡それぞれ増加している。

二、都道府県別の状況

(1) 出火件数

出火件数は、東京都7,048件を最上位に、大阪府5,017件、愛知県4,276件、兵庫県3,427件、神奈川県2,920件の順となっている。

一方、少ない県は、奈良県及び和歌山県の277件を最下位、富山県281件

春の叙勲と藍綬褒章

長年の功労、いま実る

昭和60年春の生存者叙勲と藍綬褒章の受賞者が、5月29日天皇誕生日に発令された。

叙勲の伝達式は、5月21日東京都港区虎ノ門日本消防会館ニッショーホールで、また、藍綬褒章の伝達式は5月30日東京都港区関人ホテル講堂でそれぞれ行われた。

この栄誉に輝いた本県消防関係者は、次の方々である。

◎叙勲(17名)

◎藍五等瑞宝章

◎叙勲元副団長

飯田川町元副団長 菅生 秋蔵 61

◎叙勲(17名)

菅原 一郎 71

◎叙勲(17名)

羽後町元副団長 須藤 一 64

◎叙勲(17名)

田代町元副団長 田村 雅男 61

◎叙勲(17名)

阿仁町元副団長 中嶋 重二 64

◎叙勲(17名)

大館市元副団長 山崎 清一 61

◎叙勲(17名)

雄和町元副団長 源井善治 60

◎叙勲(17名)

鳥海町元副団長 村上 広吉 62

◎叙勲(17名)

仙南町元副団長 高橋 隆 62

◎叙勲(17名)

鹿角市元副団長 菅生 秋蔵 61

第38回全県消防大会

7月25日湯沢市で開催

第38回全県消防大会が、来る7月25日(水)湯沢市で次の要綱で開催されることになった。

(開催要綱)

一、目的

消防士の高貴、消防士間の親睦、消防知識の普及並びに消防関係者相互の緊密な連携を保持し自治体消防の発展に寄与すること。

二、日時

昭和60年7月25日(水)午後1時30分から

三、場所

湯沢文化会館

四、主催

秋田県消防協会

五、後援

秋田県、湯沢市、雄勝郡各町村

六、参加者

(1)消防団正副団長

(2)消防長、消防隊長

(3)参加を希望する消防団幹部

(4)本会に加入している特別消防団員

(5)市町村消防事務担当者

七、参加者の服装

制服、印種、踵何れでもよいとする。

八、提出課題

一 支部一題とする。

九、会費

参加者一人につき、一〇〇円とする。

消防団員教養研修の実施について

消防防炎課では、昭和60年度の消防団員教養研修実施要綱を策定し、次のとおり実施することとした。

一、目的

近年における都市化の進行、生活環境の多様化に伴い、特殊建築物、危険物施設等が増加し、火災その他の災害も態様が変化し、潜在的な発生危険は極めて増大しておりこれに対応した消防人の養成が喫緊の課題となっている。

しかし、一般社会人で構成される消防団員については体系的な教育訓練を受ける機会に恵まれないのが実状である。このため次の要綱による消防団員の教養研修を実施して資力の向上をはかる。

二、事業主体

消防防炎課

三、研修区分及び対象

(1)幹部教養

班長以上の消防団員

(2)一般教養

消防団員

四、研修科目及び時間数

次の科目より適宜選択するものとする。ただし、研修一回における総時間は概ね5時間とする。

(1)幹部教養

○幹部としての心構え

○消防組織制度

○消防防炎活動

○現場指揮

○火災予防

(2)一般教養

○団員としての心構え

○消防組織制度

○火災防ぎよ

○水防活動

○秋田県消防団員教養研修師範の講師

○その他主催者が適宜と認めらるる者

六、実施時期

年度を通じ実施するものとするが、特に8月及び9月を実施時期とする。

七、実施場所

消防防炎課、分会又は市町村において定める場所とする。

八、経費の助成

所要経費のうち、テキスト代については県が秋田県消防協会を通じて助成するものとする。

九、実施状況報告

主催者は、研修終了後7日以内、県消防防炎課長及び、別紙様式により実施状況を報告するものとする。

七月の広報事項

○花火による火災を防ごう

夏は花火のシーズンであるが、取扱いの不注意から火災などの事故が毎年多くおきているので、花火の正しい取扱いについて呼びかける。

○津波による災害を防ごう

地震が発生した場合、津波が来襲するおそれがある。そこで、海水浴など海浜に親しむ機会が多い夏を迎えるに当たって、地震を知ったならばすぐ海浜から離れる等津波に対する知識の普及を図る。

○婦人防火クラブの活動を理解し参加しよう

婦人防火クラブの役割と活動状況を紹介し、参加を呼びかける。

消防施設工事 秋田県知事許可(般-50) 4370号
指名競争入札参加資格 秋田県A級(第8号)
秋田県消防設備保守協会会員

消防設備はソフト (保守点検)が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10-9 ☎63-1551(代)

火災報知設備・消防ポンプ・消火器

予防火災
○火災防ぎよ
○水防活動
○秋田県消防団員教養研修師範の講師
○その他主催者が適宜と認めらるる者

年度を通じ実施するものとするが、特に8月及び9月を実施時期とする。

消防防炎課、分会又は市町村において定める場所とする。

所要経費のうち、テキスト代については県が秋田県消防協会を通じて助成するものとする。

主催者は、研修終了後7日以内、県消防防炎課長及び、別紙様式により実施状況を報告するものとする。



定価 1部 5円 23の協会の協賛
秋田県消防協会 秋田県消防協会
発行所 秋田県消防協会
発行編集人 秋田県消防協会
印刷所 秋田県消防協会

昭和60年度

代議員会を開催

予算・決算等承認

秋田県消防協会昭和60年度代議員会を6月11日午前11時からみづほ荘において協会の役員、代議員及び来賓など約80名が出席して行われた。

まず、中田会長あいさつ。秋田県は、未知事来賓祝辞のあと、寄付行為第十八条の規定により中田会長が議長となり議事に入られた。

議事録委員2名、琴丘町副会長、渡辺、其、栗成村副会長、中田、正隆の両氏を議長、次いで事務局長から昭和59年度の事務ならびに事業報告があり、引続き、決算・予算の審議が行われた。

議事の概要(決算の部)
一、昭和59年度一般会計歳入歳出決算の承認について
歳入高金 16,028,142円
歳出高金 15,925,426円
差引残高金 102,716円

二、昭和59年度消防協会の特別会計収支決算の承認について
歳入高金 3,927,395円
歳出高金 3,927,395円
差引残高金 0円

三、昭和59年度特別会計歳入歳出予算案について
歳入高金 10,954,163円
歳出高金 10,073,935円
差引残高金 880,228円

昭和60年度全国統一防火標語

怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」

昭和60年度特別会計歳入歳出予算案について

三、昭和60年度一般会計歳入歳出予算案について
歳入高金 35,200,000円
歳出高金 35,200,000円
差引残高金 0円

昭和60年度事業計画

一、会議
次の会議を開催し、会の進捗をはかる。
二、表彰
三、広報
四、防火見聞録・震災互助会
五、消防防犯、団員の慰問
六、無火災県民運動の推進
七、新報「消防秋田」定期発行(3、400部)

宮城県で開催

1、防火用車両等の増加交付方法について
2、消防協会が受ける寄附金について税法上の特別措置について
3、新年度消防員(高卒)の教育訓練について
4、山形県
5、日本消防協会代議員による委員会設置について
6、岩手県協会より引き受けのあいさつがあった。次に、宣言決議に入り、

東北地区消防連絡協議会

昭和60年度東北地区消防連絡協議会が6月18日宮城県で開かれ、本県から中田会長、田畑、伊藤、副会長、阿部、事務局長等が出席した。同日午後2時から協議会に先だって各県正副会長、日消代議員、事務局長会議を開き、

日中友好交流訪問団に

湯沢市消防団長等参加
日本消防協会と中国消防協会の友好関係増進を記念して、全国各地の消防団代表約150名が5月20日から27日まで、AコースBコースに分れて中国各地の消防事情を視察訪問し、日中両国消防の発展を深めることになりました。

八月の広報事項

○防火訓練に参加しよう
9月1日は「防災の日」8月30日から9月5日は「防災週間」である。地震が発生した場合の火の始末、初期消火、応急救護、安全避難等について、施設長における心得をしっかりと身につけるため、防火訓練へ積極的に参加することを呼びかける。

消防人事異動

○増田町消防団(6月25日付)
副団長 杉田 謙一郎
消防団長 佐藤 芳太郎
副団長 佐藤 芳太郎
消防団長 佐藤 芳太郎

宮城県副会長が重要案を協議

このあいごに、午後4時、各県に協議会を閉会した。

消防設備はソフト(保守点検)が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は
猿田興業株式会社
秋田市山王六丁目10-9 電話 63-1551(代)
火災報知設備・消防ポンプ・消火器

高義商事株式会社

取締役社長 高橋 七郎
秋田県横手市寿町2番9号
TEL (0182) 3380・3381

(営業種目)
トールハツ消防ポンプ
シバウラ消防ポンプ
トールハツ消防ポンプ(代理店)
各種一般機器
各種一般機器
各種一般機器
各種一般機器

防災訓練に参加を

消防庁

政府、地方公共団体をはじめとして、広範囲が台風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波等の災害について認識を深め、かつ、備を十分にすることによって、災害を未然に防ぎ、また被害を最少限に抑えようとする。この趣旨に基づき、政府は、毎年9月1日から、防災の日、8月30日から9月5日までの1週間を「防災週間」と定めています。この期間においては、全国各地で防災知識の普及のための講演会、展示会等の開催が実施され、また、各種防災訓練が実施されます。

賞じゆつ金基準額の改正について

の改正について

かねてから懸案であった賞じゆつ金の額引上げについては、昭和60年5月7日付け消防庁告示第1号をもって消防表彰規程(以下「規程」といふ)の一部が改正され、同日から施行されている。改正は、賞じゆつ金の支給基準額を、従来の「規程」第15条の1に規定された、賞じゆつ金10万円に、賞じゆつ金5万円を加算することとした。改正は、賞じゆつ金の支給基準額を、従来の「規程」第15条の1に規定された、賞じゆつ金10万円に、賞じゆつ金5万円を加算することとした。改正は、賞じゆつ金の支給基準額を、従来の「規程」第15条の1に規定された、賞じゆつ金10万円に、賞じゆつ金5万円を加算することとした。

台風

に備えよう

わが国は、地理的に台風の影響を受ける地域にあり、毎年平均3個ほどの台風が日本列島を通過し、暴風、豪雨、高潮をひきおこして、大きな被害をもたらしている。このように台風による被害を最少限に抑止するために、都道府県、市町村では、災害の予防及び災害が発生した場合の応急処置等を内容とした「地域防災計画」を作成し、災害に備えている。しかし、災害から生命、財産を守るためには、これらの公的機関だけでなく、地域住民による自主防災組織の活動が、水防活動や避難活動などを組織的に行うことが必要である。

消防学校

だより

大曲山北広域消防本部 大曲消防署 本誌7月号に掲載した、消防人事異動のうち、仁賀保地区消防本部消防長に、田沼清一郎氏が就任された。おわびの言葉を述べたい。おわびの言葉を述べたい。おわびの言葉を述べたい。

ルナティック・ロマン

いずれにしても若い連中は、彼女を愛するアメリカ人の記者もいた。年配の記者たちはそれなりに、うまごりの受け付けられた。うまごりの受け付けられた。うまごりの受け付けられた。

月	建物	その他	死者	負傷者
6月	32	32	2	20
前年(1月~6月)	244	135	13	205
前年(1月~6月)	-5	-41	-9	-20

項目	内容
1	大曲山北広域消防本部
2	大曲消防署
3	本誌7月号に掲載した
4	消防人事異動のうち
5	仁賀保地区消防本部
6	消防長に
7	田沼清一郎氏
8	就任された
9	おわびの言葉を
10	述べたい

大曲山北広域消防本部 大曲消防署 本誌7月号に掲載した、消防人事異動のうち、仁賀保地区消防本部消防長に、田沼清一郎氏が就任された。おわびの言葉を述べたい。おわびの言葉を述べたい。おわびの言葉を述べたい。



定価 5円 郵送料別
1部 300円
4部 1000円
10部 2500円
25部 5000円
50部 10000円
100部 20000円
1部 300円
4部 1000円
10部 2500円
25部 5000円
50部 10000円
100部 20000円

防火防災の誓い新たに 第38回全県消防大会

湯沢市で開催

県消防協会主催 秋田県湯沢市 雄勝郡各町村協議会の第38回全県消防大会が7月25日湯沢文化会館で盛大に開催された。

米吉として果敢と奮闘し、湯沢市を以て、日本消防協会会長代理部長部長、笹山栄次郎議員、地元県議議員、消防部など多数が参加された。

湯沢市で開催された。湯沢市を以て、日本消防協会会長代理部長部長、笹山栄次郎議員、地元県議議員、消防部など多数が参加された。

湯沢市を以て、日本消防協会会長代理部長部長、笹山栄次郎議員、地元県議議員、消防部など多数が参加された。湯沢市を以て、日本消防協会会長代理部長部長、笹山栄次郎議員、地元県議議員、消防部など多数が参加された。

湯沢市を以て、日本消防協会会長代理部長部長、笹山栄次郎議員、地元県議議員、消防部など多数が参加された。湯沢市を以て、日本消防協会会長代理部長部長、笹山栄次郎議員、地元県議議員、消防部など多数が参加された。



湯沢市で開催された第38回全県消防大会の会場。

昭和60年度全国統一防火標語 「消したのは怖いのは 「消したつもり」と 「消えたはず」

極めて大きな役割を果たした。消防の重要性を広く国民に知らせるため、昭和60年度全国統一防火標語が発表された。

極めて大きな役割を果たした。消防の重要性を広く国民に知らせるため、昭和60年度全国統一防火標語が発表された。

極めて大きな役割を果たした。消防の重要性を広く国民に知らせるため、昭和60年度全国統一防火標語が発表された。

極めて大きな役割を果たした。消防の重要性を広く国民に知らせるため、昭和60年度全国統一防火標語が発表された。

昭和60年度全国統一防火標語の発表式の様子。

日中消防友好訪中 に参加して 宮嶋 長一郎

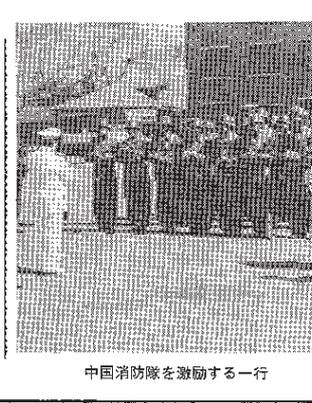
このたび、中田会長が先導し、日中消防友好訪中団一行が中国を訪問した。日中消防の友好関係を深めることに貢献した。

このたび、中田会長が先導し、日中消防友好訪中団一行が中国を訪問した。日中消防の友好関係を深めることに貢献した。

このたび、中田会長が先導し、日中消防友好訪中団一行が中国を訪問した。日中消防の友好関係を深めることに貢献した。

このたび、中田会長が先導し、日中消防友好訪中団一行が中国を訪問した。日中消防の友好関係を深めることに貢献した。

日中消防友好訪中団一行のメンバー。



中国消防隊を激励する一行。

十月の広報事項
○ガスによる火災を防ぐ
ガスによる火災や爆発事故は、近年増加傾向にある。ガス使用時の注意点を徹底し、火災を防ぐことが重要である。



定価 1部 5円 23の23
秋田市中通4丁目3の23
発行所 秋田消防協会
郵便番号 秋田 010
電話 5107
発行人 能代市大手町7の8
印刷所 有限会社 北羽出版社
電話 63 6222



春頌

年頭の辞

消防庁長官 関根則之



あけましておめでとう。昭和六十一年の新年を迎え、全国の消防関係の諸君の御健康と御発展を心から祈ります。本年は、国策の推進と国民生活の向上に努め、消防の発展に寄与することを期します。

あけましておめでとう。本年は、国策の推進と国民生活の向上に努め、消防の発展に寄与することを期します。

あけましておめでとう。本年は、国策の推進と国民生活の向上に努め、消防の発展に寄与することを期します。

新年を迎えて

秋田県知事 佐々木 喜久治



あけましておめでとう。本年は、国策の推進と国民生活の向上に努め、消防の発展に寄与することを期します。

あけましておめでとう。本年は、国策の推進と国民生活の向上に努め、消防の発展に寄与することを期します。

あけましておめでとう。本年は、国策の推進と国民生活の向上に努め、消防の発展に寄与することを期します。

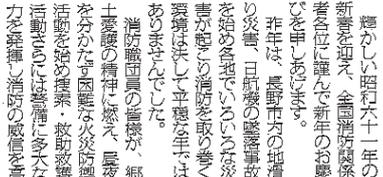
年頭のあいさつ

日本消防協会 会長 笹川良一



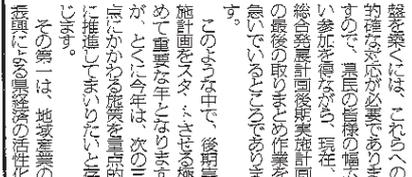
あけましておめでとう。本年は、国策の推進と国民生活の向上に努め、消防の発展に寄与することを期します。

あけましておめでとう。本年は、国策の推進と国民生活の向上に努め、消防の発展に寄与することを期します。



あけましておめでとう。本年は、国策の推進と国民生活の向上に努め、消防の発展に寄与することを期します。

あけましておめでとう。本年は、国策の推進と国民生活の向上に努め、消防の発展に寄与することを期します。



あけましておめでとう。本年は、国策の推進と国民生活の向上に努め、消防の発展に寄与することを期します。

あけましておめでとう。本年は、国策の推進と国民生活の向上に努め、消防の発展に寄与することを期します。

謹賀新年

秋田県

知事 佐々木 喜久治

消防防炎課

課長 渡邊 純一

消防学校

校長 山崎 吾郎

消防協会

会長 田中 征雄

事務局長

野井 芳雄

事務局長

田上 賢一

事務局長

山崎 吾郎

事務局長

山崎 吾郎

事務局長

山崎 吾郎

事務局長

山崎 吾郎

年頭のあいさつ

秋田県議会議長 橋岡貞龍



橋岡貞龍議長

昭和六十一年の新春を喜ぶ。橋岡議長は、年頭のあいさつの中で、県民の健康と幸福を祈り、県政の発展を期す旨を述べられた。

年頭にあたって

秋田県市長会(秋田市長) 会長 高田景次



高田景次市長

昭和六十一年の年頭に、市長会は、市民の生活と健康を第一とし、市政の発展を期す旨を述べられた。

年頭のことば

秋田県町村会長 藤原慶三郎



藤原慶三郎会長

昭和六十一年の年頭に、町村会長は、農村の発展と農民の幸福を祈り、農村政策の充実を期す旨を述べられた。

新年のごあいさつ

秋田県消防防災課長 長谷川長庸



長谷川長庸課長

昭和六十一年の年頭に、消防防災課長は、市民の安全と健康を祈り、消防防災体制の強化を期す旨を述べられた。

年頭にあたって

秋田県消防協会副会長 田畑栄太郎



田畑栄太郎副会長

昭和六十一年の年頭に、消防協会副会長は、消防士の健康と安全を祈り、消防活動の充実を期す旨を述べられた。

消防団人事異動

消防団人事異動



消防団人事異動の概要。各消防団の団長や副団長の異動が発表された。

消防団員募集の重要性。市民の安全を守るため、消防団員募集を積極的に進めようと呼びかけられた。

消防団員募集の重要性。市民の安全を守るため、消防団員募集を積極的に進めようと呼びかけられた。

日本機械自動車ポンプ シバウラ消防ポンプ 秋田県総代理店

高義商事株式会社 取締役社長 高橋 七郎 秋田県横手市寿町2番9号 TEL (0182) 32 3880・3881

森田ポンプ ラビットポンプ 桜ホース・ソフト吸盤 消防被服一式 各種消火器 ガス水道工事一般 簡易自動消火装置ユーホ ￥25,000

株式会社 協立 能代市栄町2の3 〒016 TEL (0185) 52-6361代表

